

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500127
事業所名	グループホーム エム・ケア名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 認知症の周辺症状について地元大学学生生活動や研究への協力研究への職員の協力がある。 毎月施設開放を行い、周辺住民と交流があり、開催を周知するところにより、相談体験等交流がある。 町内の活動への参加、近隣保育園、小学校などと交流がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者、家族、民生委員、区政協力委員、市政功労者、保健師、いきいき支援センターなどの参加により、運営の状況、行事報告、相談、意見交換、など、パワーポイントを利用し解りやすく議事を進めている。 小規模多機能事業所と合同での開催を行い、多岐にわたる検討や食事体験等日常のケアに触れ意見、を出しやすい工夫がある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 日常的に市担当課との連携があり、随時相談、報告、など交流している。 いきいきセンター主催の課演習会に講師として参加している。 いきいき支援センターや区役所担当者、関係機関と連携し、住民の相談解決に協力している。 市、いきいき支援センターの研修会、事業者講習等に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置がある。 頻度の高い面会時を生かし、また介護計画の見直し時等、意見、要望の収集をしてケアに生かしている。 推進会議欠席者へ、議事録を送り情報共有をしている。 随時の電話連絡、アンケートを通じニーズを探っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○				